

# 研究通信

No. 158

1989年9月20日 刊  
村落社会研究会 局  
村 社 務 研 究 会  
事 務 研 究 部  
中 央 大 学 商 学 部  
吉 沢 四 郎  
八王子市東中野742-1  
Tel 0426-74-3559

## 第三七回村落社会研究会大会プログラム

第一日(10月18日)午前9時開会

自由報告(報告40分・質疑10分)

- 一、清水みゆき(千葉大学大学院)(9時～9時50分)  
「住友の資本蓄積構造に果たした土地集積の役割と煙害問題」
- 二、武笠俊一(三重大学医療技術短期大学部)(9時50分～10時40分)  
「戦後の農村変革と緊急開拓政策―岩手県東磐井郡旧興田村の事例」
- 三、佐渡和子(東京大学)(10時40分～11時30分)  
「年齢階梯型(ひと結合型)村落と家連合型村落」
- 昼食 11時～12時30分(運営委員会)
- 四、福与徳文(農水省農業研究センター)(12時30分～13時20分)  
有田博之(農水省農工学研究所)  
「都市化圧力による土地評価基準の変化―集落を単位として」
- 五、堀川 彰(農水省農業研究センター)(13時20分～14時10分)  
工藤清光(農水省農業研究センター)  
「農村型有線テレビがコミュニケーション活性化と技術普及に

及ぼす影響」

六、大森正之(慶応義塾大学)(14時10分～15時)

「先進的稲作経営の今日的課題について―秋田市近郊S家の経営動向をふまえて」

七、岩本由輝(東北学園大学)(15時～15時50分)

「秋田県大潟村の農業経営と村落」

休憩 15時50分～16時

宿題委員会・地区研究会報告16時～17時

総 会 17時～17時50分

懇 親 会 18時

第二日目(10月19日)午前9時開会

課題報告(報告50分・質疑10分)

「農村社会編成の論理と展開―転換期の家と農業経営」

司会者 高山隆三・高橋明善・安原茂

一、徳野貞雄(広島県立大学)(9時～10時)

「農業危機における農民・農協の新たな対応」

二、奥山正司(東京都老人総合研究所)(10時～11時)

「農村における高齢化の現状と農家高齢者の生活」

三、松村和則(筑波大学)(11時～12時)

青木辰司(秋田県立農業短期大学)

「有機農業運動の地域的展開」

昼食 12時～13時(運営委員会)

共同討議 13時～15時

閉 会 午後3時